

経済・金融 フラッシュ

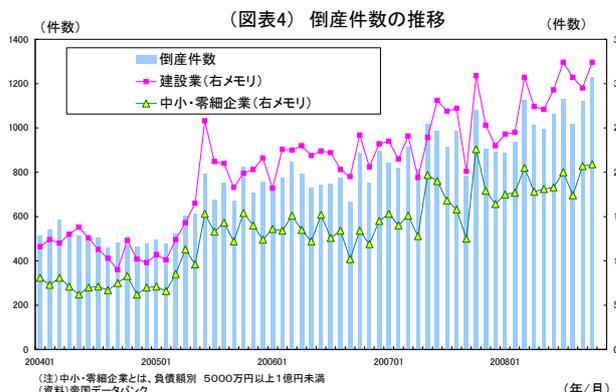
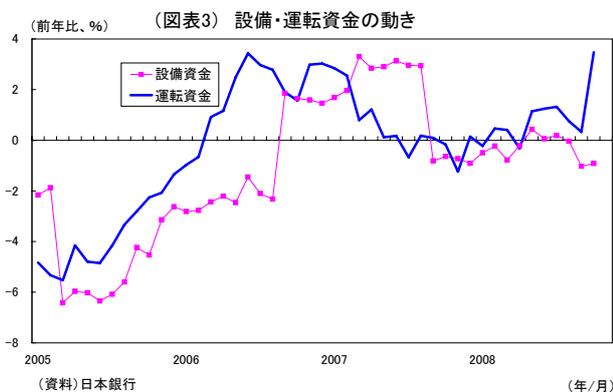
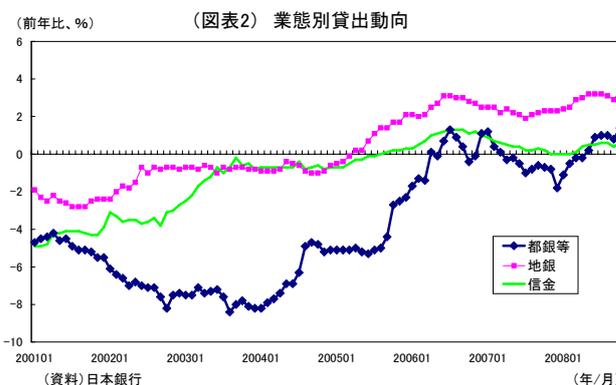
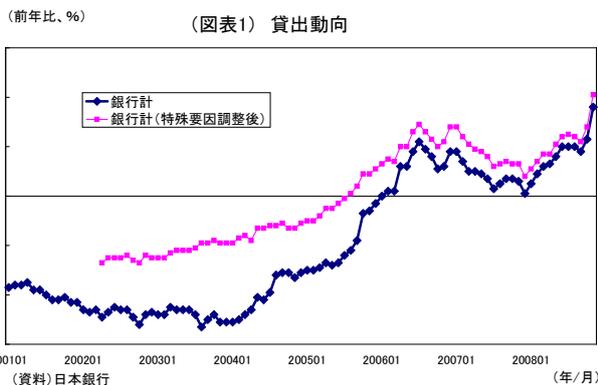
11月マネー関連： 市場調達困難、借り入れ依存を強める

経済調査部門 主任研究員 矢嶋 康次
TEL:03-3512-1837 E-mail: yyajima@nli-research.co.jp

1. 貸出動向：市場調達困難、借り入れ依存を強める

貸出・資金吸収動向等によると、11月の総貸出(平残、銀行計)は前年比3.6%と、92年4月以来、約16年半ぶりの高い伸びを示した(図表1,2)。リーマン破綻以降、企業は市場での調達が困難となっており、CP等から借り入れへシフトしているため伸び率が高まっている。

ただし、借り入れの内訳を見ると運転資金の増加などで、設備投資など実需への需要は低い。また倒産件数も増加傾向で銀行の貸出態度も厳しくなっており、今後も貸出市場が現在のように増加するとは考えにくい(図表3,4)。

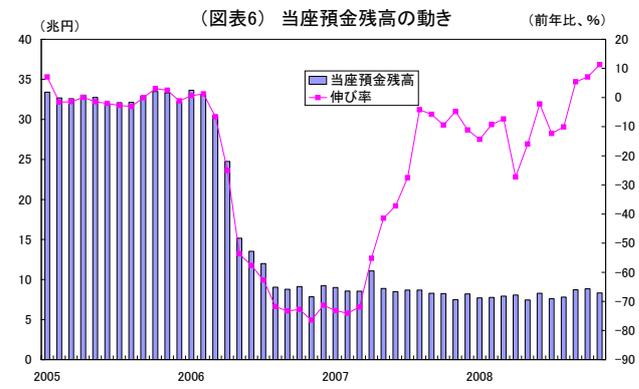
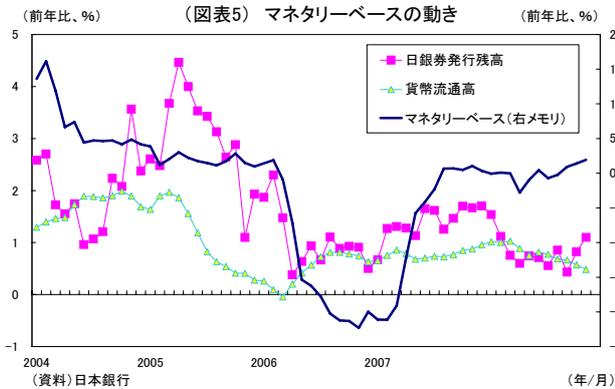


2. マネタリーベース：日銀大規模資金供給、当座預金残高の高い伸びが続く

11月のマネタリーベースは、前年同期比1.9%増と、2カ月連続で増加した。2006年2月(プラス1.9%)

以来の高い伸びを記録している(図表 5)。

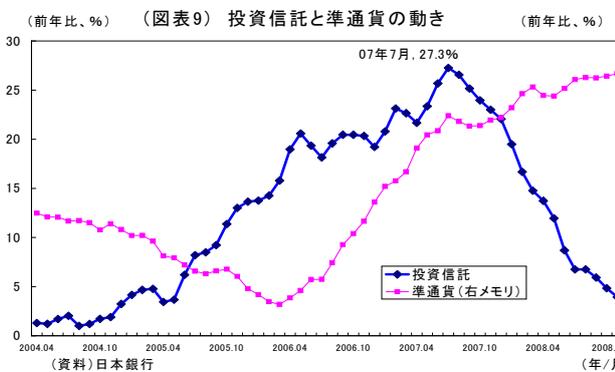
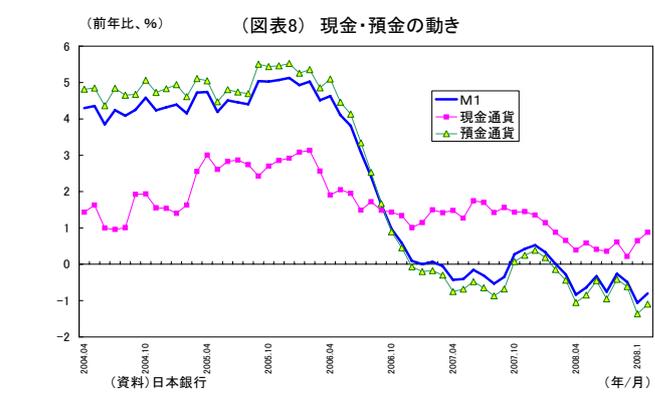
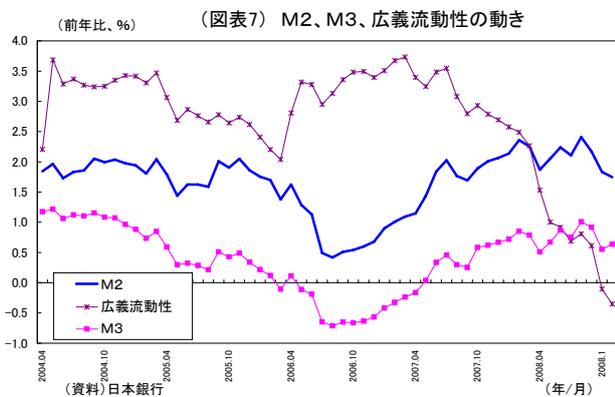
日銀は金融市場の混乱で大規模資金供給を行っている。この影響で11月日銀当座預金残高の前年同期比はプラス11.3%と3ヶ月連続でプラスの伸びとなっている(図表 6)。



3. マネーストック: M2は2%台前半の推移が続く

M2 (現金、国内銀行などの預金)、広義流動性とも先月から伸び率が低下した。M3 (M2 にゆうちょ銀などすべての預金取扱金融機関の預貯金を含めた) は前月と同じ伸び率となった(図表 7, 8)。

投信の伸び率が6ヶ月連続で一けた台の伸びにとどまっている。定期預金などの準通貨の伸びは続いており、リスク回避・安全資産へのシフトは継続している(図表 9)。



(お願い) 本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。